

- 1 鎌倉幕府が、年貢の徴収や土地の管理、治安維持のために各地に置いた役職を何という？
 ① 守護 ② 評定衆 ③ 執権 ④ 地頭 ☐ ☐
- 2 鎌倉時代に御家人が負担した、戦いのための動員や役務を何という？
 ① 公事 ② 軍役 ③ 雑役 ④ 番役 ☐ ☐
- 3 浄土真宗を開き、阿弥陀仏の力を信じる教を説いた僧は誰？
 ① 親鸞 ② 蓮如 ③ 法然 ④ 一遍 ☐ ☐
- 4 鎌倉時代に琵琶法師が琵琶を弾きながら語り歩いた、平氏の栄枯盛衰を描く軍記物語を何という？
 ① 徒然草 ② 古今和歌集 ③ 平家物語 ④ 方丈記 ☐ ☐
- 5 元軍の再来に備えて、北条時宗が博多湾岸に築かせた防壁を何という？
 ① 引付衆 ② 守護代 ③ 検地帳 ④ 石築地 ☐ ☐
- 6 鎌倉幕府において、各地方に配置され、土地の管理や徴税を任された役職を何という？
 ① 国司 ② 地頭 ③ 守護 ④ 郡司 ☐ ☐
- 7 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒をめざして挙兵し、幕府軍に鎮圧された「承久の乱」が起こったのは何年？
 ① 1221年 ② 1274年 ③ 1185年 ④ 1192年 ☐ ☐
- 8 モンゴル帝国が中央アジアから支配下に置いた、西側の地域はどこ？
 ① アフリカ大陸 ② 東南アジア ③ ヨーロッパ東部 ④ 地中海沿岸 ☐ ☐
- 9 13世紀後半、フビライ・ハンが日本へ向けて2度にわたり大規模な遠征軍を九州北部へ送った一連の戦いを何という？
 ① 承久の乱 ② 応仁の乱 ③ 保元の乱 ④ 元寇 ☐ ☐
- 10 源頼朝の弟として、壇ノ浦の戦いで平氏を打ち破る中心的な役割を果たした人物は誰？
 ① 源頼朝 ② 源義経 ③ 源義仲 ④ 源範頼 ☐ ☐
- 11 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？
 ① 国風文化 ② 天平文化 ③ 鎌倉文化 ④ 室町文化 ☐ ☐
- 12 鎌倉幕府において、将軍と主従関係を結び、軍事や行政の実務を担った武士を何という？
 ① 御家人 ② 公家 ③ 守護 ④ 地頭 ☐ ☐
- 13 承久の乱の後、朝廷の監視と西日本の武士を統制するために京都に置かれた機関を何という？
 ① 評定衆 ② 京都守護 ③ 鎮西探題 ④ 六波羅探題 ☐ ☐
- 14 将軍が御家人に土地の保証や新しい領地の支給を行うことを総称して何という？
 ① 奉公 ② 御恩 ③ 荘園 ④ 知行国 ☐ ☐
- 15 鎌倉文化に見られる、武士の気風を反映した特徴を表現する言葉として「何々さ」とよく言われるものは？
 ① 力強さ ② 躍動感 ③ 優雅さ ④ 写実性 ☐ ☐
- 16 『徒然草』のように、筆者が日々の出来事や感じたことを自由に書き留める文学形式を何という？
 ① 歌集 ② 説話集 ③ 随筆 ④ 軍記物 ☐ ☐



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	地頭 は、荘園や公領において年貢の取りまとめや土地の管理を行いました。		4 地頭	☐
2	軍役 は、御家人が「奉公」として果たさなければならない主要な義務です。		2 軍役	☐
3	親鸞 は、自らの修行ではなく、阿弥陀仏の救いを純粹に信じることを強調しました。		1 親鸞	☐
4	平家物語 は、平清盛をはじめとする平氏一族の栄華とその滅亡を描いた文学作品です。		3 平家物語	☐
5	執権・北条時宗は、博多湾の海岸線に沿って高さ約2メートルにも及ぶ石の壁、 石築地 （元寇防壁）を築かせました。		4 石築地	☐
6	地頭 は、御家人の中から任命され、土地の管理や年貢の徴収を行いました。		2 地頭	☐
7	1221年 、後鳥羽上皇が中心となって起こしたのが承久の乱です。		1 1221年	☐
8	モンゴル帝国の支配はアジアにとどまらず、西へ大きく拡大しました。		3 ヨーロッパ東部	☐
9	1274年の文永の役と、1281年の弘安の役の2度、元軍が九州北部に襲来しました。		4 元寇	☐
10	源義経 は、一ノ谷の戦いや屋島の戦いなど、数々の戦いで創意工夫を凝らした戦術を用いて平氏を追い詰めました。		2 源義経	☐
11	鎌倉文化 は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。		3 鎌倉文化	☐
12	御家人 は、将軍から領地を安堵される「御恩」を受ける代わりに、戦時の軍役や京都・鎌倉の警備といった「奉公」を義務付けられました。		1 御家人	☐
13	幕府は京都に「 六波羅探題 」を設置しました。		4 六波羅探題	☐
14	「 御恩 」とは、将軍が御家人に対して本領の安堵（土地の支配権を認めること）や、新しい領地の供与を行うことです。		2 御恩	☐
15	「 力強さ 」とは、鎌倉文化を象徴するキーワードです。		1 力強さ	☐
16	随筆 （エッセイ）は、決まった形式に縛られず、個人の内面や世の中に対する洞察を記すものです。		3 随筆	☐

言えなかった用語ノート